

奥州地区交流会報告

日時：2026年3月18日（水）10:00～12:00

場所：奥州市水沢南地区センター コミュニティ室

参加：端坂支部長、佐藤副支部長

他20名

内容：

1. 支部長挨拶

① 2026年度定時総会

日時：5月10日（日）10:00～12:00

場所：北上市文化交流センターさくらホール（小ホール）

② 医療講演会について

日時：5月10日（日）13:30～15:30

場所：北上市文化交流センターさくらホール（小ホール）

講演内容：パーキンソン病治療の最新動向と生活の質の向上を目指して

国立病院機構 仙台西多賀病院 院長 武田 篤 先生

③ バイオリン演奏

日時：5月10日（日）16:00～16:40

場所：北上市文化交流センターさくらホール（小ホール）

演者：高山 仁志 様

④ 情報提供

- ・ iPS細胞医療 条件・期限付承認について
- ・ 服薬方法の工夫について

3. 近況報告

- ・ 最近、動きが悪くなったと主治医に伝えた。主治医は動きが悪くなったようには見えないが、年齢（82歳）の影響もあるのではないかと本人に伝えたが本人の訴えを聞き入れて「ゾニサミド」が追加された。服用しても効果が感じられないがどうしたらよいか

→ 端坂

効果が感じられないのなら主治医に相談して中止したらどうか。年齢による筋力低下もあると思うので全てをパーキンソン病が進行した。＝薬でなんとかしたいと考えない方が良く思う。パーキンソン病の進行は遅いので通院間隔で急激に動きが悪くなることはないと思う。状態記録表をつけてみてはどうか。

- ・ 48歳 病歴7年で現在「ドパコール50mg」を6回服用、ニュープロパッチ18mgも貼っているが、動けなくなることがある。現在かかっている病院から岩手医大を紹介

介された。岩手医大では「ヴィアレブ」の適応検査入院を勧められたがどうすべきか迷っている。

→ 端坂

「ヴィアレブ」を受けた人の話を数人から1年経過するとオフ症状がでるようになり、入院して流量調整をしたがオフ症状はあまり改善できなかったという話を聞いている。全国会報183号に「ヴィアレブ」を受けた方の感想が載っているので参考にしてください。若年性パーキンソン病の親御さんが2名盛岡地区の交流会に参加されている。電話でも病状についての相談を受けている。2名とも病歴3年だが動けなくなることがあったが、服薬調整で動けるようになり、仕事も続けている。病歴30年で足取りは不安定だが自力歩行できている方もいるので、服薬調整でなんとかなるのではないかと

- ・ 病歴10年 毎日ではないが一歩が出なくなることが多くなってきた。どうすればよいか

→ 端坂

一歩が出なくなる時間帯や頻度、例えば狭いところなど環境の影響はあるのか整理できるので状態記録表をつけてみてください。

- ・ 病歴2年 片側の振戦が酷いため薬がどんどん増やされるが症状が改善しない。仕事に支障をきたしているので3月末で退職することにした。(64歳 定年前)

→ 2年前に保健所主催の交流会で同様の症状の人と話をしたことがある。その方はFUS（集束超音波治療）を受けたら振戦が収まったと話していた。あるオンライン医療講演で片側だけの振戦を薬で抑えることは薬の量、種類が多くなり病気が進行し他の症状が出てきたときに対応できなくなるので勧められない。FUSを推奨すると説明していた。主治医にFUSを勧められなかったか。

→ 質問者

勧められなかった。具体的な説明もなく薬が増やされるが症状が改善しないので転院を考えている。

次回予定

佐藤副支部長から

参加人数が多くなってきた。水曜日は他の団体が30名収容できる会議室を予約しているので使えない。木曜日に変更したいがどうか

反対意見はでなかったため、次回から木曜日に開催することになった。具体的な日時は別途連絡する

